

学校運営協議会委員の年度末アンケートより

(1) 学校運営協議会の回数について

○ちょうど良い(14) ○増やした方が良い(1) *年4回程度 ○減らした方が良い(0)

(2) 学校運営協議会の活動内容について

【情報共有】

- 各学部の先生方の報告から、地域交流の多さと次年度の取組まで発表できることに感心している。
- 校報やYCS通信を通して活動の様子を伺い知ることができ感謝している。例えば、浜ノ町町内会さんとの活動や事業所との連携活動等個々の取組について掘り下げた内容をご紹介する機会があれば各々活動を深く知ることができ、新たな提言や関連する活動への道づけになることもあるのではないかと。
- 学校が目指す方向性がよくわかり、またそれに対する課題等も検討されていてとても良いと思う。
- 学校運営により寄与できる学校運営協議会でありたいと思っている。

【資料の提示】

- 資料の提示は、プロジェクターでなくてもモニターへ映しても良いかと思う。

(3) 熟議について

○ちょうど良い(14) ○増やした方が良い(1) *年2回程度 ○減らした方が良い(0)

(4) 熟議についての感想や意見

テーマは、「ゆり支援の子どもを地域の方に知ってもらうには」でした。

【熟議の進め方】

- 昨年と違うメンバーで、開催し、多方面から意見を出してもらうのも一考かと思う。
- 卒業生を採用している企業の担当者を招いての熟議は良かった。しかし、卒業生の仕事ぶりや他の従業員との人間関係などについて実態を伺い、障がい者理解を進める上での課題等を掘り下げるまでにはいかなかったように思う。
- 次回は、児童生徒が参加して思っている事を共有してみても良いのではないかと。

【情報共有】

- 様々なお立場の方々と意見交換することで、自分の役割を見直す機会となっている。
- 初めての参加だったが、普段接する機会のない地域の方々、また先生方と意見交換することができ、とても良い機会となった。
- 今年度の熟議は、参加者の顔ぶれもあったかもしれないが、大変有意義で皆さんの意見が参考になった。熟議形式とはいかなくても、保護者や企業の方々を交えての話し合いに参加する機会が増えたら良い。
- 企業の方や保護者の方がたくさん参加していて、活発な意見交換がありとても良かった。



第1回学校運営協議会
「高等部授業参観」



第2回学校運営協議会「熟議」



第3回学校運営協議会「協議」

(5) その他(自由記述～委員として学校に関わって良かったことなど)

- コミュニティ・スクールの活動を通じ、地域と連携した社会参加に積極的かつ先進的な取組がなされていることを強く感じた。ハローワークとしても、障害をお持ちの方が、一人でも多く安定した職業生活ができるよう更なる支援をしていきたい。
- 初めて委員として参加して、学校の日頃の取組等を知ることができ良い機会となった。
- 障がい者支援事業所の立場としては、特別支援学校からの訪問はあっても学校に行く機会は少なく、このような形で定期的に来校させて頂き実習等で見る生徒の方々と違った表情をみる事で、皆さんの地域社会生活を支える一員になっている自覚を感じる。
- 学校においては、特別支援教育と生徒指導の境目がなくなっていたり、障害の有無が重要な情報でなくなったりしてきていると感じる。それによる指導の困難さもあるが、境目や区分がなくなる社会はいいことだとも思う。社会の変化や子どもたちの様相の変化に対応できる学校でありたい。
- 生徒の皆さん、教職員の皆さんが地域社会とどのように具体的にに関わり、つながっているかを知ることが出来、地域の社会福祉に携わる者として励みになった。
- 何度か学校を訪問したことで、学校や授業の様子がつかめ、就学支援に生かすことができた。
- 地域のゆり支援学校に対する理解が、少しずつではあるが深まってきた気がする。
- 障害のある子どもの親として、地域との交流や貢献活動には子どもと一緒に積極的に参加して、理解を深めてもらうようにしている。
- にかほ地区へのアピールがもっとできればと感じている。にかほ地区の会社で、昼休みを利用して作業製品の販売や学校紹介等協力を要請してみても良いのではないかと。
- 医療的ケアを要する児が、日常生活や集団生活を地域で過ごせるよう何が必要なのかを考えていきたい。

YCS【ゆりコミュニティ・スクール】通信



第4号 令和6年3月8日発行

2月14日に第3回学校運営協議会が行われました。次年度に向けて、たくさんの御意見をいただきました。御参加いただいた委員の皆様ありがとうございました。今回の通信では、第3回学校運営協議会の様子と委員の皆様からの年度末アンケートについてお知らせします。

第3回学校運営協議会

今年度の各学部の取組について



小学部：鶴舞小学校とは9月に本校で、11月に鶴舞小学校で交流をしました。居住地校交流は31名が地域の小学校で音楽、体育、図画工作の学習に参加しました。TDK野球教室、ブラウブリッツ秋田のサッカー教室、ボランティア団体による読み聞かせ会も実施しました。様々な交流が児童の成長につながりました。今後もよりよい交流をしていきたいです。

中学部：1年生は生徒の居住地校3校と学校間交流、3年生は浜ノ町町内会とゆり花壇づくりで交流しました。手芸班で製作した「ミニまり」を「全国ごてんまりコンクール」に初めて出品、出展しました。中学部全体でTDK野球部やブラウブリッツ秋田とスポーツ交流をしました。中学部を知ってもらうよい機会になり、今後も積極的に交流していきたいです。

高等部：作業学習ワークショップで木工班が子育てサークルや地域の方々と交流しました。由利本荘市ふるさと納税返礼品として食品加工班の「いちじく南蛮味噌」と木工班の「ままごとキッチン」を登録、販売しました。事業所と連携してパン作りや陶芸製品の納品もしました。今後は地域の祭りやイベントへの参加も検討していきたいです。交流により地域と共に成長しているので、今後も本校の取組を理解していただき、障害理解や卒業後の社会参加につながるようになっていきたいです。

寄宿舎：ブラウブリッツ秋田とのサッカー交流や10年ぶりに由利高校とも交流しました。余暇活動で木のおもちゃ館等へも出かけました。



委員の皆様から

- ・事業所内でゆり支援学校の製品、作品を展示できるようにしていきたいです。
- ・コミュニティスクールは学校の職員全体が同じ方向を向いて進めていくことが大切だと感じました。
- ・企業、関係機関と協力して就労支援、職場定着を目指し、安定した職業生活を送ることができるようにしていきたいです。
- ・居住地校交流では、子ども達が普段の生活では見られない優しい接し方をしている姿を見ることができました。地元の友だちとの関わりを絶やさないように、障害理解を進め、就学支援等でも連携していきたいです。
- ・企業が学校に来校する機会があれば、従業員と見学したいです。
- ・ゆり花壇、除雪で町内会との交流を継続していきたいです。
- ・TDK野球部も交流を楽しみにしている。できることがあれば声を掛けてください。
- ・にかほ市ではゆり支援学校の情報が少ないと感じています。情報の発信を工夫していただきたいです。



貴重な御意見ありがとうございました。今後の取組に生かしていきます。

